

## 美唄市男女共同参画推進協議会会報

デュオ  
Duo

デュオとはイタリア語で「二重唱」「二重奏」を意味します。

発行：美唄市男女共同参画推進協議会事務局

## 美唄市男女共同参画講演会

10月23日に市民会館で、Duoの会、美唄市、北海道女性協会共催の、美唄市男女共同参画講演会を開催しました。講師にはNPO法人お助けネット代表理事のなかやみちえ中谷通恵さんをお招きし、

「親だけじゃ子どもは育たない～子育てを支える地域の輪～」をテーマにお話ししていただきました。

下記は実際に講演を聞いた子育て中のママさん2人による感想です。

現在、小学3年生と5歳の子育てをしています。子育てに関する講演会と聞き、参加しました。

子どもが健やかに育つための大事なこと。幼児期には子どもの話を聞き、心の甘えを受け入れる。児童期には競争や比較をしない。いろいろな人との触れあい、自然体験、観劇などを通して楽しい体験をさせる。

日々の子育てに取り入れることのできる話を聞いて、とてもためになりました。

子どもにとって、親は安心できる「基地」であるために、親も不安を抱え込まないよう、家族や地域のサポートを得ながら、楽しく子育てできたらいいと思いました。  
(Y・Y 30代)



白老で20年前から子育てにかかわる活動をしている“NPO法人お助けネット”の中谷さんのお話を聞きました。

元小学校教員だった中谷さんは「小学校入学までにどれだけ“人間好き”になっているかが大切だ」と話されました。「人間が好きだという気持ちが根付いていれば、入学してからの先生とのかかわり、友だちとのかかわりがうまくいき、安定する」と。

この話を聞いて「我が家はラッキーだったな」と思いました。上の娘(8歳)が生後1カ月の時、赤ちゃん訪問で保健師さんが家に来てくれました。娘の成長を見ながらも、母になった私のことを気にかけて「頑張っているね」と励ましてくれ「すくすく相談」の事を教えてくれました。1歳までの赤ちゃんとお母さんが月1回、保健センターで集まる会で、早速ベビーカーを押して参加しました。

まさに子育て中の保健師さんたちが多く、とても居心地が良い会でしたし、そこでお友達になった赤ちゃんとお母さん方には今でも仲良くしてもらっています。



(裏面へ続く) ↘



「すくすく」に行ったことで、子育て支援センターはみんなを紹介してもらい、親しくなったお母さん方と時々遊びに行くようになりました。はみんぐの先生方にも子どもの発達やあそび方など、色々話を聞いてもらいながら、1人目、2人目と子育てをしていきました。

家族以外に赤ちゃんの頃から我が子を知っていてくれる大人が周りに居るとするのは本当にありがたい事だと思います。



我が家の子どもたちの周りには、保健師さん、はみんぐの先生、幼稚園の先生、保育園の先生、ファミリーサポートゆりかごの人たち、お友だちのお母さんたち、おやこ劇場などで出会ったたくさんのあたたかい大人たちがそばに居てくれます。

人と出会うはじめの一步は緊張もあり、疲れるかもしれません。でも、色々なことがある長い子育ての中で、人のつながりは、きっと助けになると思います。小さなお子さんを育てているお父さん、お母さん、助けてくれる人、美唄にはけっこういますよ！

(A・T 30代)

### Duoの唄

このコーナーでは、主に会員の皆様からいただいた男女共同参画に関する様々な思いを寄せた唄を掲載しています。特に決まった形式はなく、身近な生活の中で感じたことや疑問に思っていることなどを川柳のような短い言葉で表現したものです。会員以外の方からの唄も大歓迎ですので、興味のある方は、ぜひ市役所地域経営室まで。皆様の作った自慢の句を会報に載せてみませんか？

貴男が作  
ご飯おつ  
明日はいつ  
ペンは私  
ネがい  
ー作わ  
ムり  
ひまし  
まわよ  
り

雪が降る  
食が作る  
分事作  
か作  
つりか  
てか  
い雪  
ペンの  
ネーが  
ムー今  
Y日  
子聞く

「ママはわたしのぼくの  
歯医者さん」って  
ペンパはどこ？  
ネームN o r d a n o

\*このような商品名のむし歯予防フッ素ジェル材がありますが、パパも歯磨きやむし歯の点検はしていますよね？

### 配偶者暴力相談窓口について

配偶者からの暴力で困っている方などの相談を受ける窓口を設けています。このような方については「配偶者からの暴力の防止および被害者の保護に関する法律」により、専門の相談や必要に応じて一時保護をする施設の入所、配偶者の接近禁止などの申し立て制度ができています。この法律についてのお問い合わせや相談がありましたら、市役所の女性相談窓口または女性相談援助センターまでお気軽にご連絡ください。

\* 女性相談窓口 美唄市役所地域経営室 62-3137 (受付・・・月～金、8時45分～17時15分)

\* 道立女性相談援助センター(札幌) 011-666-9955 (受付・・・月～金、9時～17時)

## 「買い物、恋愛、仕事に“依存”する女性たち」

講演会レポート  
Duoの会員 近藤肇子

去る6月26日、「買い物、恋愛、仕事に“依存”する女性たち」をテーマにしたえりのみや 衿野未矢氏の講演会に参加するため、札幌市まで行ってきました。当日の会場、エルプラザ内にある男女共同参画センターホールに行くのは3回目。センターは老若男女、国籍問わず誰でも自由に出入りできる空間であり、広いホールではたくさんの方が会話を楽しんだり、サークル活動を行っていたりと賑わっています。また、新聞や専用図書も豊富で、勉強する場としても最適であり、保育室もあるため、子育て中の方でも気軽に利用できるこの施設をうらやましく思い、美唄にもこのような施設ができればと感じました。

さて、講演会に参加して驚いたのは、どちらかといえば女性向けの講演内容であったにもかかわらず、若い男性や年配の男性の参加者が多く見受けられ、皆さん真剣に聞き入っていたことです。



内容は、ストレスやちょっとしたことが原因で、買い物依存に陥ってしまったことなど、ご本人の体験談を中心として語られたものでした。

ストレス社会と言われる昨今、買い物や恋愛・仕事だけでなく、様々なことに依存し、現実逃避しようとしてしまうことは誰にでもあります。そうならないためには「いかにストレスをためないか」、「たまってしまったときにどう解消するか」など、心身共に健全な生活を送ることが大切だと考えさせられます。

先述のとおり、この講演会では男性の参加者が多く見受けられ、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みが着実に広がっていることを実感でき、参加できて良かったと思います。

札幌市男女共同参画センター 男女共同参画推進協議会  
買い物、恋愛、仕事に  
“依存”する女性たち

◎日時：平成22年6月26日(土)  
午後1時～3時(開場：午後12時30分)

◎会場：札幌市男女共同参画センター・ホール(3階)  
札幌市北区北条西3丁目札幌エルプラザ内

◎入場料：800円(入場券の購入が必要です)  
・入場券は札幌エルプラザ公民館前売券窓口にて販売中。  
・当日券も販売。  
・入場券購入時は、お名前が記載されたものをご持参ください。  
・当日での予約は、札幌市男女共同参画センター(電話予約：011-225-2255)

◎対象：18歳6か月以上年齢制限なし、予約が必要です。  
ご参加の方は6月23日(日)までにお申し込みください。  
定員10名まで先着順。

◎申込期間の必要では、6月3日(土)までに入場券を届ける上、アクセス等が申請期間の告知を  
お知らせください。開催1週間前を過ぎた場合は、申込受付を中止できない場合があります。

札幌エルプラザ  
札幌市北区北条西3丁目札幌エルプラザ内  
札幌市男女共同参画センター  
・JR札幌駅北口より徒歩3分  
・地下鉄南条駅北口より徒歩7分  
・地下鉄南条駅北口より徒歩10分  
・札幌駅北口地下歩道12番出口南

### 「美唄市男女共同参画推進協議会(通称Duoの会)」会員募集中!

会では、新規会員を募集しています。男女共同参画社会づくりに向けて学習し、身近に取り組める家庭や職場・地域で実践することを目的としている協議会に興味のある方は、ぜひご連絡ください。

\*問合せ・入会申込

事務局(美唄市役所地域経営室内)

TEL 0126-62-3137へ

## 「デュオの会」屋外活動

「Duo の会」の存在と、活動内容を多くの方に知ってもらうため、昨年8月7日に行われた「歌舞裸まつり2010」において、会報Duo14号を配布し、PR活動を行いました。

啓発活動風景



当日は強い日差しが照りつけ、蒸し暑い日となりましたが、来場していた皆さんは笑顔で快く受け取ってくれ、180部あった会報は、あっという間になくなりました。

これからも男女共同参画推進に向けた様々な取り組みを進めていきたいと考えています。



## ワークショップの開催

昨年11月13日に、市の主催で、札幌市男女共同参画センターより講師をお招きしたワークショップが開催されました。「身近なジェンダーに気付く」というテーマで、参加者自身の名前の由来について考えるワークショップと、架空の人の伝記をつくるワークショップの2つを行いました。



伝記というと難しく聞こえるかもしれませんが、男性・女性それぞれの名前を決め、その名前の人はどういう人生をたどるかを考えていくという簡単なもの。グループによっては帰国子女にしたり、スポーツ選手にしたりとユニークな人生に。参加者の皆さんは、一見自由に考えているようでも、男の人と女の人の人生にはそれぞれ「男としての人生」「女としての人生」という無意識の思いこみが潜んでいることに気づかされ、「これがジェンダー（社会的につくられた性別）か!？」と、大変盛り上がりました。

## 編集後記

子育てを離れてうん十年。今は小学校2年生と4歳の孫を時々見ていますが、一番多感な時期ではないでしょうか。昔に比べると、子育てに対する支援体制は充実しており、今の親御さんたちは恵まれているなぁと思う一方で、共働きで子育てをしている人も多く、自分たちの世代の子育てとはまた違った大変さもあると思います。情報があふれている中での子育ては大変でしょうが、今のパパ・ママには頑張ってもらいたいですね。もちろん自分も“おばあちゃん”として協力は惜しみませんが。(前川 和子)